



プロジェクションマッピングで 子どもたちが描いた未来の座光寺が映し出されました

去る11月12日(土)、夕方4時半より麻績の広場にて座光寺小学校150周年記念セレモニーを開催しました。家族連れや小学校の生徒さんら400人近い皆様が広場に集まりました。自治会からは参加者1家族に地域券を1000円分プレゼントしました。子どもたちにいろんなメッセージを書いてもらった竹宵を並べ、陽の沈んだ夕方5時、一斉に点火しました。徐々に暗くなっていく空間に数々の灯りがともった竹宵がなんともいえない幻想的な雰囲気を出しました。

続いてプロジェクションマッピングといってコンピュータで作成した映像をいろんな場所に大きく映し出す技術ですが、それを用いて舞台校舎に旧座光寺小学校の授業や給食風景をビデオに残した貴重な映像や現在の小学校の登校の様子等を投影し、さらに座光寺小学校出身の有名音楽グループの1人と生徒たちとの質問の掛け合い等、皆さん身を乗り出して見

座光寺小学校150周年 記念セレモニー盛大に開かれる

自治会 社会部長 宮崎 勲

入っていました。

最後に仕掛け花火に火が着けられ、ナイアガラの滝が上から下へ華麗に流れ落ち、その裏で小型花火が何発も打ち上がり思わず歓声や拍手が湧き上がりました。そして大三国の花火が噴水のように火の粉を噴き上げ、再び歓声と拍手が起こりました。まだまだ名残惜しい中で夕方6時ごろにお開きとなりました。



竹宵のメッセージに火が灯りました

姿を大きく変える座光寺 住民の声をしっかりと受けとめて

市長と語るまちづくり懇談会

座光寺地区の「市長と語るまちづくり懇談会」が9月30日(金)、座光寺公民館大会議室で開催された。自治委員や地区長、提言関係者を中心に、約40名の参加となった。市からは市長の他、リニア推進部長・産業経済部長・建設部長等、7名の出席があった。

牧野光彰自治会長はあいさつの中で、リニアに関する重要課題である騒音問題に対して、J Rの対応に疑問を呈しつつ、市にも丁寧な対応を依頼した。またスマートインターチェンジ(SIC)の地域としての利活用が議論に至っていないなどとして、市の助言・協力を要請した。信大新学部誘致に関しては、従来通りエス・バードの活用を強く希望する意を表明した。

佐藤健市長のあいさつで



は、地元が不安を訴えるリニアの騒音問題について、J Rとの間で協議が整わない状況ではあるが、地域側に立って協力したいとの言葉があった。SICに関しては、今現在、想定以上の利用があることに触れ、さらに利用が進むであろうリニア開通後のSICの利活用について、地元と共に考えていく方針を示した。信大誘致では、エス・バードの活用を持ち掛ける一方で、市としてはまず学生が住みたいと思えるまちづくりを進めることが重要とした。

地域からの課題と要望では、3つの委員会からテーマが提示され、市からの回答を求めた。

土地利用計画運営委員会は「リニア開業後の座光寺地域の土地利用を考える上で、市はどのような構想を持っているか、また農振農用地区域の見直しはあるのか」と問うた。市は「リニア駅からエス・バードまでの一帯を新しいビジネスゾーンに位置付ける」とし、農振農用地区域の見直しはゾーンニングを行う中で、農地として守る所、産業用地として開発する所の線引きを地元

と共に議論したいとする。生活安全委員会は「人口の減少や高齢化により、今までのような住民による生活環境の保全活動は難しくなっている。この状況を市はどう考えるか」と質した。市は、他地区も同様の課題を抱えているとして、管理者が責任を負う部分と住民のボランティアに頼る部分の住み分けを、住民と一緒に考えたいとした。

コロナ下の防災訓練 規模を縮小して実施

全市一斉の地震総合防災訓練が9月4日(日)に予定されていたが、ここ数年同様、またしても新型コロナウイルス感染症の影響を受けて中止となった。そんな中、座光寺地域自治会では、訓練の空白が何年も続くことを憂慮し、規模を縮小しての実施にこぎ着けた。



市の方針に則り、全住民向けの訓練は中止とする一方、参集範囲を座光寺地域自主防災連絡協議会会員を中心に約50名ほどに絞

歴史に学び地域をたずねる会では、農機具などの民俗資料の保管場所に困っている実態と、麻績舞台校舎・石川除の国指定史跡を目指した取り組みについて紹介し、市の協力を仰いだ。これに対し、教育委員会が対応を約束した。姿を大きく変えようとしている座光寺。期待もあれば不安もある。この度の懇談会で市に住民の声が届いたか。

り、座光寺地域災害対策本部と区災害対策本部のみの開設訓練、無線による伝達訓練等を行った。

拠点となる座光寺公民館に参集する要員は、今年初めて「ファーストミッションボックス」を活用した災害対策本部開設の訓練を行った。数年前から計画はありながら実践の機会が奪われていた。箱の中に本部開設に必要な任務が順に書かれたカードが収められており、駆け付けた人から番号順に手に取り行動を起こしていく。ファーストミッションは3人以上で外から建物の状態をチェックすること。安全が確認できた次の行動は解錠と建物内部のチェックである。訓練当日は次々と人員が到着し、あっという間に災害対策本部が調った。他にも今年度初めて訓練に

秋のごみゼロ運動集計結果

空き缶	183個
空きびん	72本
ペットボトル	192本
埋立ごみ	12袋
燃やすごみ	34.3袋
資源ごみ	3袋
その他	3個

参加者
大人 848人
子供 32人
計 880人



取り入れたものにドローンの活用がある。座光寺地域自治会では今年4月にドローンを購入し、産業建設部員を中心に操縦者を養成した。今回の訓練では、区災害対策本部から無線で上がってきた被害想定箇所を上空50mから撮影後、公民館に戻ってプロジェクターに映した。参加者は本部に居ながらにして一瞬で被害現場の情報が共有できる実感味わった。自治会では今後も防災分野でドローンやデジタルの活用を進めていきたいとしている。

地域住民向けの訓練が今年度もできなかったことは残念である。始発の住民同士の命の助け合い、安否確認と情報伝達。ここを一番に機能させて上層本部に繋げられるよう、日頃の住民の意識が重要だ。

地域づくりフォーラム

恒川史跡公園の活用について考えよう

運営委員長 今村 紘子

去る10月15日（土）に座光寺公民館において地域づくりフォーラムを開催しました。地域づくりフォーラムとは、地域課題を検討するための場として公民館運営委員会が毎年企画しているものです。今年「恒川史跡公園の活用について考えよう」をテーマとし、35名の方にご参加いただきました。

史跡恒川官衙遺跡はJR元善光寺駅と国道153号線の間にあります。奈良・平安時代の役所跡が発掘され、調査は現在も続いています。国指定史跡となり、地下の遺構を保護するため公園としても整備が進んでいます。今年の4月には、恒川清水の周辺が史跡公園の清水エリアとして開園しました。正倉跡が見つかったエリアなどはこれから整備実施計画が検討される所です。

この史跡恒川官衙遺跡はどのような公園になるのでしょうか。このテーマを決めたのは、座光寺地域の方から史跡公園についてよく知らないとい

お聞きしたことがきっかけでした。恒川史跡公園について理解し、活用方法を話し合うことで、公園を活発に利用していく機運が高まると考え、地域づくりフォーラムを行うことになりました。

地域づくりフォーラムの前半では、まず市の文化財保護活用課の方に史跡公園の性質や歴史的な価値を説明していただきました。続いて、史跡公園整備の参考として、視察に行った三重県四日市市にある久留倍官衙史跡公園の様子を紹介しました。久留倍官衙史跡公園は、恒川史跡公園と同じく古代の役所跡が見つかった場所にあります。

公園の整備は国の基準に沿った整備基本計画に基づいて進み、地下の遺構に影響のある構造物は公園内に建てることのできないそうです。久留倍官衙史跡公園も一部に再現された建物がある以外は芝生に覆われた広い敷地が広がっていました。

後半は一時間ほどグループワークを行い、恒川史跡公園

をどのように活用したいか意見交換をしました。個人が散歩で利用するならペット用のスペースがあると良い、また、馬の産地であったことを踏まえ、馬と触れ合うイベントはどうか、など様々な意見をお聞きすることができました。

今回の地域づくりフォーラムは、恒川史跡公園について関心を持っていただくきっかけ作りという面が大きいものでした。実際にどう使うか検討したことで、恒川史跡公園について具体的にイメージすることができました。今回の意見交換の内容は、来年2月の座光寺文化祭で展示発表する予定です。ぜひご覧いただきたいと思います。



敬老祝賀会が開催されました

健康福祉委員会

座光寺地区の先輩方へ

高陵中学校3年 太田 愛葉

敬老の日、おめでとうございます。近所の方々、地域の方々が登下校のときや、散歩をしているときなどに声をかけていただいたりあいさつをしてくださるので、安心して楽しく過ごすることができています。本当にありがたいです。

今は新型コロナウイルスの影響で地域での行事が中止になってしまっても悲しいのですが、また地域で集まれる日が来ることを心から楽しみにしています。

そして、リニア新幹線の開通が近づき、この座光寺地域の街並みや、道路が変わってきています。でも、ただ座光寺の見た目が変わろうとも、地域との関わり方や、絆は変わりません。そんな座光寺地域が続くために、私たちも努力していきます。だから、これからも私たちの成長を見守ってください。そして、これからずっと元気で、長生きしてください。本日は本当におめでとうござい

「会える時間を大切に」

座光寺小学校6年 橋本 有乃

私の父の実家は横浜、母の実家は福岡県にあります。横浜の祖父母も、福岡県の祖父母も健在です。会える時には一緒に楽しい時間を過ごしています。たくさん遊んでくれたり、いろんな場所に連れて行ってくれたりします。福岡県の祖母も横浜の祖母も、私の大好きな料理を作ってくれます。

数日前にとっても悲しい知らせがありました。母のおばさんが亡くなったのです。母がお葬式に向かった日の夜に、父が「祖父母がいることを当たり前前に思っちゃだめだよ。いつ会えなくなっちゃうかわからないからね」と話してくれました。それまで私は祖父母がいて当たり前で思っていました。けれど、祖父母と会えなくなる日が急に来るかもしれないと気付いたのです。大好きな祖父母との時間を大切にして、疲れていたら肩をもんであげたいです。「ありがとう」や「ごめんさい」をちゃんと言葉で伝えたいと思います。

10/1 元善光寺稚児行列



10/22 座光寺地域芸能発表会



座光寺小学校開校150周年記念式典



今年、5・6年生児童の皆さんが、加により、15のグループに分かれ、大人と子どもで座光寺の将来を考えました。

座光寺の子どもの健全な育成を願って、学校・PTAと家庭と地域の皆で話し合う「座光寺の子どもの語る会」を11月12日（土）、座光寺小学校開校150周年記念式典に併せて開催しました。

「こんな座光寺になつたらいいな」
子どもと考えるよう



始めの内はお互い緊張していましたが、徐々にほぐれて和やかに話が進みました。
グループ発表では「集まれる公園が欲しい」「自然を残したい」「ほっこりした座光寺であり続けてほしい」「お祭をまたやってほしい」等の子どもたちの願いが発表され、最後に塩澤校長先生の「子どもたちは普段話すことがない地域の人たちと話す貴重な経験ができた」などの講評により閉会しました。

南本城で歴史と自然とあそび発見

公民館健全育成部

暑い日差しの下、山城の森は涼しい風で心地よいです。

9月25日(日)「自然まるごと満喫、秋の南本城を探索しよう」と題した、自然観察会が、子ども連れ10名の家族と、地域人教育の授業で、飯田OIDE長姫高校の生徒3名の参加者により行われました。

伊那谷自然友の会の小林正明先生の説明では、野鳥が運んで生える木々(中にはキウ

.....

ボッチャ体験交流会



イも)や、城跡には必ず生えているという矢竹や、他にも希少植物の話を聞きました。

観察後、子どもたちは、集めたどんぐりで、ヤジロベエを上手に作り上げました。「山には色んなものが有るんだなあ」と、笑顔でした。

.....

座光寺公民館で「ボッチャ体験会」が10月9日(日)に行われ、30人が参加しました。

令和4年度はコロナ禍のため運動会の開催が見送られました。体育部では、地域・地区の交流の場をなんとか提供したいということで、このボッチャ体験会が企画されました。

参加者からは「すぐ分かるルールで良かった」「幅広い年齢で楽しめる競技。ぜひみんなにやってほしい」「企画してくれてありがたかった」などの声が聞かれました。

四日市、広島、姫路の研修旅行

歴史に学び地域をたずねる会

田口 博人

今回の研修旅行は歴史に学び地域をたずねる会、2000年浪漫の郷委員会、座光寺公民館の共催で2泊3日の研修旅行を計画し22名の方に参加していただきました。

当会では、昨年の8月に戦争体験などの聞き取りの書籍を発刊しましたが、2月から始まったロシアによるウクライナ侵攻を目の当たりにし、あらためて広島、原爆ドーム等を見学して世の中を見直したい思いで企画しました。コロナ感染症の中を無事に行って来ることが出来ました。

1日目は四日市の久留倍官衙遺跡と倉敷の大原美術館と倉敷美観地区を見学しました。

久留倍官衙遺跡は恒川官衙遺跡と同じ位の規模で恒川遺跡より勾配の急な場所、ガイダンスも造られていて、展示・維持管理の事をお聞きし大変今後の参考にになりました。大原美



術館は沢山の絵等に圧倒されながら観てきました。美観地区は、午後4時過ぎと言うのに大勢の人で驚き感心して来ました。2日目は呉市の大和ミュージアムで戦艦大和の大きな模型や戦争に使用した戦闘機等模型見学と、実際に使用した潜水艦の中に入って見学をしました。

広島へ向かうバスの中で、バスガイドさんの勧めにより皆で折鶴を折りました。原爆ドームの前で皆の集合写真撮り、原子爆弾は本当に凄いなあと改めて爆撃の跡を見て思いました。皆で折った折鶴を原爆の子の像の所に、平和を祈りながら捧げました。広島平和記念資料館を見学し、戦争はしては駄目だと改めて思いました。3日目は姫路城を見学しましたが綺麗で大きく、広い場内でした。改修で

出た、通し柱の太さと長さには驚きました。今回の研修旅行は天候にもめぐまれて世の中を見直すには本当に良い機会でした。旅行に行かせていただきました有難うございました。自治会に感謝いたします。

地域の歴史学習会

歴史に学び地域をたずねる会

田口 博人

去る9月10日(土)に長野県文化財保護審議委員である、市澤英利さんを講師にお願いし、「3つの史跡と東山道」神坂峠・飯田古墳群・恒川官衙遺跡」の演題で講演会を開催いたしました。

座光寺地域では、恒川官衙遺跡の公園工事が着々と進んでいます。地域の方に理解していただきより良い遺跡公園が出来事を願い開催いたしました。

座光寺地域では国史跡の恒川遺跡と飯田古墳群の2つがあり、素晴らしい地域だと思います。神坂峠遺跡のある神坂峠を通る東山道が出来て、飯田古墳群が作られた古墳時代が在り、恒川官衙遺跡の伊那郡衛が飛鳥・奈良・平安時代に作られ、使われてきました。今後もこのような講演会を開催して、地域の皆様と一緒に地域を知り、現在行っている恒川史跡公園、今後行いう飯田古墳群の公園工事がより良い公園となる様に、ご意見とご協力をお願いいたします。

渋谷りんごパーク開園記念 コスモスまつり大盛況

汗ばむほどの秋晴となった10月16日（日）に、パノラマファーム大門にて「渋谷りんごパーク開園記念 コスモスまつり」が開催されました。自治会・パノラマファーム大門・公民館の主催で、飯田OIDE長姫高校地域人教育座光寺班の皆さんの協力により開催されました。座光寺の16組の親子が参加し、初めにアサギマダラの観察を行い、りんご狩り・「渋谷りんごパーク」の看板仕上げ・りんごケーキ作りなど、盛りだくさんの内容でした。看板を設置した後は開園を祝してシールドや、りんごジュースで乾杯を行いました。

イベントに参加いただいた方の投票により、パノラマファーム大門のキャラクターに名前が決まりました。



りんりん



アサギ



長沼場長あいさつ

令和2年の2月22日（土）に渋谷区の親子15組と地元の関係者に集まってもらい、りんごの木を植えました。その時に取材があり、発行された新聞に「渋谷りんごパーク」という記載があり、それを活かして命名しました。今回、渋谷りんごパークの看板を飯田OIDE長姫高校の生徒の皆さんが作ってくれました。りんごを植えるまでの経緯ですが、渋谷区と飯田市は緑の輪の交流という農業体験などの交流をしています。下久堅には、「渋谷の森」と名付けられた場所があります。座光寺には、りんごがありますので一緒にりんごを育てながら双方の交流の輪を広げていきたいという思いで提案してい

婚活イベント The 恋路

結婚相談委員会 湯澤 悟志

今までお見合いや相談会を中心に活動してきた結婚相談委員会ですが、今回、公民館文化部と共催でイベントを実施しました。

5月より数回の実行委員会を重ね、9月17日（土）にエス・バードで開催しました。



火おこし体験では、まず、むかしの座光寺小学校の一ふを見た。竹のくぎやむか



しの座光寺小のもけいなど見たことのないものがたくさんあってびっくりした。

に活動していきたいです。本日は立派な看板ができましたので、この看板を立てて「渋谷りんごパーク」の開園いたします。

事前に応募のあった男女42名から抽選し、直前に1名欠席があり21名で実施しました。事前に簡易キットでコロナ対策をし、自己紹介・料理教室・Q&Aタイム・抽選会と楽しくでき、最終3組のカップルが誕生しました。料理は10品作り、お持ち帰り。細かな反省点はありませんでしたが、大成功!! 来年以降も婚活イベントが継続できることを期待します。

その次に火おこしをした。木でできた三角の火をおこすそうちに糸をまいて、下ろす時に力を入れて、上げる時に力をぬくと教えてもらった。だけど、むずかしくて火がつかなかった。見本を見せてくれた先生といっしょにやったら火がついた。火がついてよかった。

そのあと、マシユマロを竹串にさして、自分たちでつけた火であぶって食べた。やくと食かんが変わって、おもしろかったよ。

編集後記

2023年は卯（うさぎ）年です。卯は穏やかで温厚であることから「家内安全」、その跳び姿から「飛躍」「向上」を象徴する生き物として昔から親しまれてきました。また、卯年は新しいことに挑戦するのに最適な年とも言われています。

若々しさと快活さを予感させる卯年ですが過去にはどのような出来事があったのでしょうか。

1987年…国鉄が民営化されJRグループが発足、利根川進教授がノーベル医学生理学賞を受賞

1999年…iモードサービス提供開始、歌手の宇多田ヒカルさんデビュー

2011年…東日本大震災、なでしこジャパンW杯優勝、テレビアナログ放送終了

卯年はこのように過去には時代の終わりや始まりを告げる出来事が多く起きているようです。

2023年卯年、世の中を変えるような、すごい事が起きそうな、エキサイティングな一年になりそうですね。

（広報部 松村）

座光寺の自然シリーズ ③〇 見られなくなった植物

座光寺に棲んでいる生物には、昔から変わらないもの、増えているもの、減っているものがある。それぞれを紹介することはなかなか難しいもの。その原因の一つは昔の状態の記録がないこと。それどころか今の状態、座光寺にどんな生き物が棲んでいるかを調べることも難しい。一般に地域の生物相（目録）を調べたところ、市町村はほとんど無い。

鉄男さんの記録

私の手元に故熊谷鉄男さんの、「座光寺の気になる植物」というメモがある。鉄男さんは宮崎地区で生まれ育った人。2016年に不幸な事故によって65歳で亡くなりました。若い頃から植物が好きで、座光寺で見た主な植物のメモを残してくださった（表）。これを見たときに「こんな種類があるの?」と思ったもの。そして「良く歩いてるな」「どうやって名前を調べたのだろう?」というのが正直な感想だった。さらに

図鑑などを見ずに、思い出しながら書いたもの。それも「すごいこと」と思ったものだ。

かつて座光寺で見られた植物

草 本			木 本	
イカリソウ	キキョウ	シュスラン	ホトトギス	ウスギョウラク
イワウチワ	キランソウ	シュンラン※	マイヅルソウ	スグリ※
イワカガミ	キンラン	ショウジョウバカマ	マコモ	ナナカマド
ウスバサイシン	クモキリソウ	センブリ※	マツムシソウ	バライチゴ
ウツボグサ	クワイ	チゴユリ※	ミヤマリンドウ※1	マツバサ
ウメバチソウ	ササユリ※	ツルニンジン	モウセンゴケ	マンリョウ※
オカトラノオ	サゼンソウ	ヒメカンアオイ	モミジガサ	ミツバツツジ
オキナグサ	サラシナショウマ	フシグロセンノウ	ヤマオダマキ	ユスラウメ※
オケラ	サワギキョウ	フデリンドウ	ユキノシタ※	レンゲツツジ
オミナエシ	ジガバチソウ	フタリシズカ		

※は現在もあるが、少なくなっている。木本は栽培種で現在もある。
※1は記録を確認する必要がある。

気になる種類

この中で気になる種類をいくつか紹介する。

オキナグサ…乾燥気味の草原・河原などに生える多年草。白毛をもった果実が「翁」のようだとこの名。栽培状態では庭先には今もある。



モウセンゴケ

モウセンゴケ…湿地に生える食虫植物。県内でも稀だが、腺毛をもった葉で虫を捕るの



ウメバチソウ

ウメバチソウ…湿った草原に生える多年草。初秋に可愛い花をつける。



オキナグサ

マイヅルソウ…山地帯上部・亜高山帯下部の林内に生え



ジガバチソウ

ジガバチソウ…里山に生える稀なラン。花をジガバチに見立てた。



サワギキョウ

サワギキョウ…湿地に生える多年草。初秋に昆虫を誘引する巧妙な形の花をつける。



マイヅルソウ

る。白い花と葉の様を舞う鶴に見立てた。

キンラン…明るい里山に生える多年草。晩春に黄色のラン花をつける。菌類と共生して



イワウチワ

鉄男さんは図鑑などを参考にしないで書いたためにサギソウ、カザグルマが欠落していた。サギソウは鉄男さんが以前に生えていた宮崎地区の2か所を私に教えてくれた。ただ残念なことに今はその場所には全く無い。サギソウの生息からすると座光寺の他の場所にもあったはずだ。（伊那谷自然友の会 小林正明）



キンラン

いるとされ、移植は不可。超貴重種。

